

様式第3号(第9条第1項関係)

東通村産業振興公社

平成21年11月13日
報告者 滝川明子

- 1 視察目的
ブルーベリーの取組みと地域産業の振興施策を学ぶ
- 2 視察内容
公社は農業、畜産、水産部門そして加工センターの事業内容で始めたけれど、畜産部門が主体となり、人件費等まで村からの補助金に頼っている。ブルーベリーは販路が非常に厳しい。
- 3 考察
ジャーキー等、東通牛の加工品は絶品との評価が高いだけに値段も高い。
ブルーベリージュース等も高価。
福島町のブルーベリーの取組みについても販路の問題が大きいと考える。

- 注) 1 事業名には収支報告書の支出科目区分により記入のこと。
2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

様式第3号(第9条第1項関係)

尻屋漁業協同組合 青森県東通村

平成21年11月13日
報告者 滝川明子

- 1 視察目的
冷凍保存1年の塩ウニの取組内容を学び、又、
活気ある組合運営、特に後継者づくり等の
勉強です。
- 2 考察
 - ・5日より持たない塩水パックに加えて、1年保存できる塩ウニ製造を福島町漁組に於いても取組むことを提言したいと思います。
 - ・組合員一丸となって取組む指導を徹底している尻屋漁組は、自力で夢のある(若者が食べて行ける)漁業をめざして頑張っている自信を感じさせられました。
 - ・多くのダイバー資格者を有する等、学ぶところが大きいと考えます。
- 3 視察内容
 - ・組合職員6名 協力しあって人件費つめている。
 - ・時には事務所を閉めて全員、海に出る。
 - ・業者にも手伝ってもらう等、少ない人件費で頑張っている。
 - ・風土的に長男が後を継ぐ。食べて行けるから。
 - ・若者の研究会30名中26名が講習を受けてダイバー資格を取った。
 - ・鮮魚は「むつ」から来る。
 - ・公社は頼りにしていない。
 - ・塩ウニ製法を漁家に指導し、製造させる。
 - ・塩ウニはメジャーでない。一度食べればリピーターになる。
 - ・38戸から女性一人ずつ集めて作業する塩水パックは尻屋では、100g1,500円 福島は2,500円 入札 キロ600円
 - ・寒いとアワビは駄目。コンブは育つ。低水温で死んだ。(2~3° 手も入れられない)
 - ・ひろいコンブオンリー

注) 1 事業名には収支報告書の支出科目区分により記入のこと。
2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

様式第3号(第9条第1項関係)

青森県鯨ヶ沢町の相撲による町づくりについて

平成21年11月14日
報告者 滝川 明子

1 視察目的

国技、相撲で青少年の健全育成を図り、各種大会で好成績を収めている取組み内容を学ぶ。

2 視察内容

中学校の相撲土俵（屋内）で子供達約20人の稽古を視察しました。
道場館長の議会議長、指導者と町長も迎えてくれ、汗だくの子供達の稽古を見守る父母の姿もありました。
まるで、九重部屋の夏合宿、朝稽古の様子そのものに可愛い子供達、女の子も居るのです。熱っぽく、緊張感に張りつめた空気なのです。

3 考察

相撲の専門的な指導者が来てから子供達への影響は大きかったとのこと。
例えばその前まで、相撲を止めたいと言っていた子が今も道場1番の成績を上げて頑張っている等。
福島町は毎年開催の千代の富士杯や全道中学校相撲選手権大会に向けて専門的指導者の配置など取組みを強めなければと考える。
鯨ヶ沢の相撲関係者がうらやむ二大横綱を生んだ町、「横綱の里づくり」の福島町が鯨ヶ沢から学ぶことは家に多いのではと思いました。

- 注) 1 事業名には収支報告書の支出科目区分により記入のこと。
2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

様式第3号(第9条第1項関係)

青森県鮭ヶ沢町のイトウ養殖について

平成21年11月14日
報告者 滝川明子

- 1 視察目的
イトウの採卵、ふ化から成魚までの養殖を行い、ブランド商品「幻の魚イトウ」として販売している取組みを学ぶ
- 2 視察内容
ふ化の歩止り良く、病気もほとんど無い。
円い水槽で17,000尾のイトウがグルグル回って泳いでいました。高級魚で地元でも、めったに食べられないそうです。
地域おこしの目玉として国内で手つかずの商品化に着手。
安定した資源として飼育。町長の厚意でイトウの刺身を食しましたら、赤身で脂がのり、美味でした。
問題として、福島県の個人業者が大量に鮭ヶ沢より安価に販売していることが判ったことです。
- 3 考察
福島町のイトウは、採卵、ふ化せず、四角い水槽で飼育され、白身でやわらかな肉質と鮭ヶ沢のイトウとは異なるものと確認しました。
しかし、ブランド商品「幻の魚イトウ」として商品化できるでしょうか。
量産の問題、販路の問題があります。
稚魚の提供を受けている北大水産学部の取組み、考え方を知らねばなりません。又、イトウの大量販売をしている福島県の個人業者の実態も知りたいと思いました。

- 注) 1 事業名には収支報告書の支出科目区分により記入のこと。
2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

政務調査報告

滝川明子

とき 平成 22 年 3 月 24 日~3 月 25 日

ところ 北海道立栽培水産試験場

いぶり噴火湾漁協伊達温水養殖センター

視察内容

平成 22 年 3 月 24 日 北海道立栽培水産試験場

担当者 酒井さん

○ ナマコは海の人参と言われ(シルクロード)、江戸時代に中国との貿易で銀の代わりに用いられた。

○ 中国では今、ナマコに病気が蔓延して品不足となり日本からの輸入が求められている。イリコその他、塩蔵品がかなり出ており、真珠の次に輸出が多い。

○ 養殖施設の疫病対策が重要。

○ 場所によって生態が異なる。

○ 5~6 年で 300 グラム程度になる。

○ 夏、産卵後に仮眠する。

○ ナマコは背骨が無いので大きくなったり小さくなったりする。

○ ナマコは何万年もかけて定着したもの。浮遊期間、産卵期が

違う。放流は地元の親を使うべき。

○ 中国のものは心配。持ち出しても良いけど、持ち込むのは避けるべき。

○ 放流効果は判らない。

考察

ナマコの専門家は道内に2~3人よりいない。その1人に会えたことは幸いでした。

ナマコの生態は未知数であり、前浜の親から種苗を育てて増やすべき。

上の国から持ってくるのは、やってみないと判らないが北海道の指導は危険性のあるものは避ける方向です。

平成22年3月25日 いぶり噴火湾漁協伊達温水養殖センタ_

担当者 会沢さん

視察内容

生き物にとって餌は重要問題ですが、伊達温水養殖センタ_では前浜の珪藻を育ててナマコの餌に使用。

「珪藻がセンタ_の生命線」と、自信の程を表した。

常時、水が流れる水槽に育つ珪藻は見事なものでした。これを食するナマコは病気も無く、しっかり育つとのこと。近在の水産加工所が買い取り、イリコに加工している。

考察

活き活きと仕事に取り組む担当者が眩しい程、輝きを見せてもらいました。

わが町で地元の親ナマコから卵を採取して中間育成し、放流に至る技術を学ぶ研修を漁組と町職員が受けることなどが必要ではないでしょうか。

視察目的

あとになりましたが、2 か所視察先ともに「ナマコの放流事業」について、専門家の識見を学ぶことです。